

Syllabus Id	syl.-1101587
Subject Id	sub-1101007600
更新履歴	20110326 新規
授業科目名	法学 Law
担当教員名	内山阿季子
対象クラス	全学科・5年
単位数	2学修単位（自学自習を含め90時間の学修をもって2単位とする）
必修／選択	選択
開講時期	前期／後期
授業区分	人文・社会科学・語学等
授業形態	講義
実施場所	5学年各クラス HR もしくは、選択制 III 教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

本講義においては憲法、民法、刑法の基本3法を網羅する。学説のみならず身近なニュースや判例を交えて様々な角度より必要かつ有益な知識を得ることを目的とする。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

ニュース番組や新聞から発信される様々な問題や事件等に目を向けること。

	Weight	目標	説明
学習・教育目標	◎	A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 基本的な法学知識を習得する。
2. 法と自己とを関係付け、法的視点において社会問題等を考察する力を身に付ける。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	オリエンテーション	学習目標、評価方法および基準の説明	
第2回	法学全体	法とは何か	
第3回	憲法	9条問題 -統治行為論-	
第4回	憲法	人権 (1)	基本的人権について判例を中心に考える
第5回	憲法	人権 (2)	
第6回	憲法	人権 (3)	
第7回	憲法	統治行為 三権分立ならびに各機能について	
第8回	民法	総則 契約 クーリングオフや消費者保護について知る	
第9回	民法		
第10回	民法		
第11回	刑法	総論 (1) 犯罪論 (犯罪とは何か、構成要件該当性)	
第12回	刑法	総論 (2) 犯罪論 (違法性)	
第13回	刑法	総論 (3) 犯罪論 (責任、未遂)	
第14回	刑法	各論 (1)	

第 15 回	刑法	各論 (2)	
	定期試験		×
課題 自学自習課題として適宜提出させる。 レポート内容：授業で取り扱った論点についての考察や授業内容のまとめ等 提出場所：授業実施教室 提出期限：出題した次週またはそれ以降の指定した日時 オフィスアワー：火曜日 12:30～13:00			
評価方法と基準 評価方法 1. 定期試験（論述試験） 2. 授業態度 3. 自学自習課題レポートの評価を加味する。 評価基準 論述試験、授業態度及び授業内レポートの総合評価にて 60/100 点以上で合格。			
教科書等	①ポケット六法 23 年度版（有斐閣）		
先修科目			
関連サイトの URL			
授業アンケートへの対応			
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも 1 週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		